



6山6里方式による 新たな肉用牛生産の展開

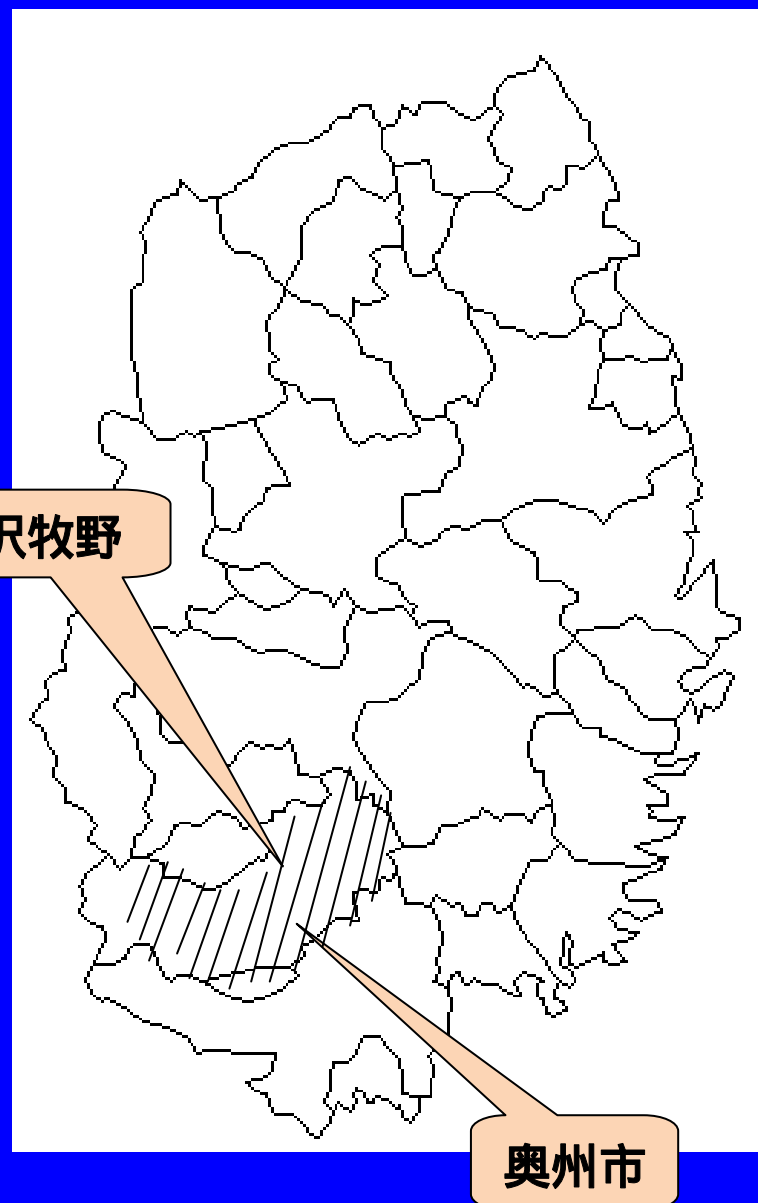
東北初の周年預託による肉用牛振興と地域の活性化

岩手ふるさと農業協同組合

地域の概況

岩手県奥州市胆沢区

- 盛岡市から南へ70キロ
- 国内最大級の扇状地でエグネ（屋敷林）に囲まれた散居集落
- 人口 17,301人
(4,717戸)
- 農業生産額 64億3千万円
うち畜産 17億5千万円(27.2%)
米 38億4千万円
- 畜産 肉牛 355戸、3,387頭
酪農 13戸、544頭
豚 9戸、948頭



胆沢牧野の概況

- 昭和48年開牧
- 管理：JA岩手ふるさと
(奥州市が設置しJAに管理委託)
- 職員数：8名
- 草地面積：156ha
- 事業：採草 55ha
 - 夏期放牧 300頭(101ha)
 - 冬期預託 150頭



牧野管理の推移

昭和48年 農事組合法人胆沢牧野
(採草、夏期放牧)

昭和54年 旧胆沢町

昭和60年 旧JA胆沢町

平成3年 **冬期預託開始 100頭規模**
(パイプハウス 2棟建設)

平成10年 JA岩手ふるさと(合併)

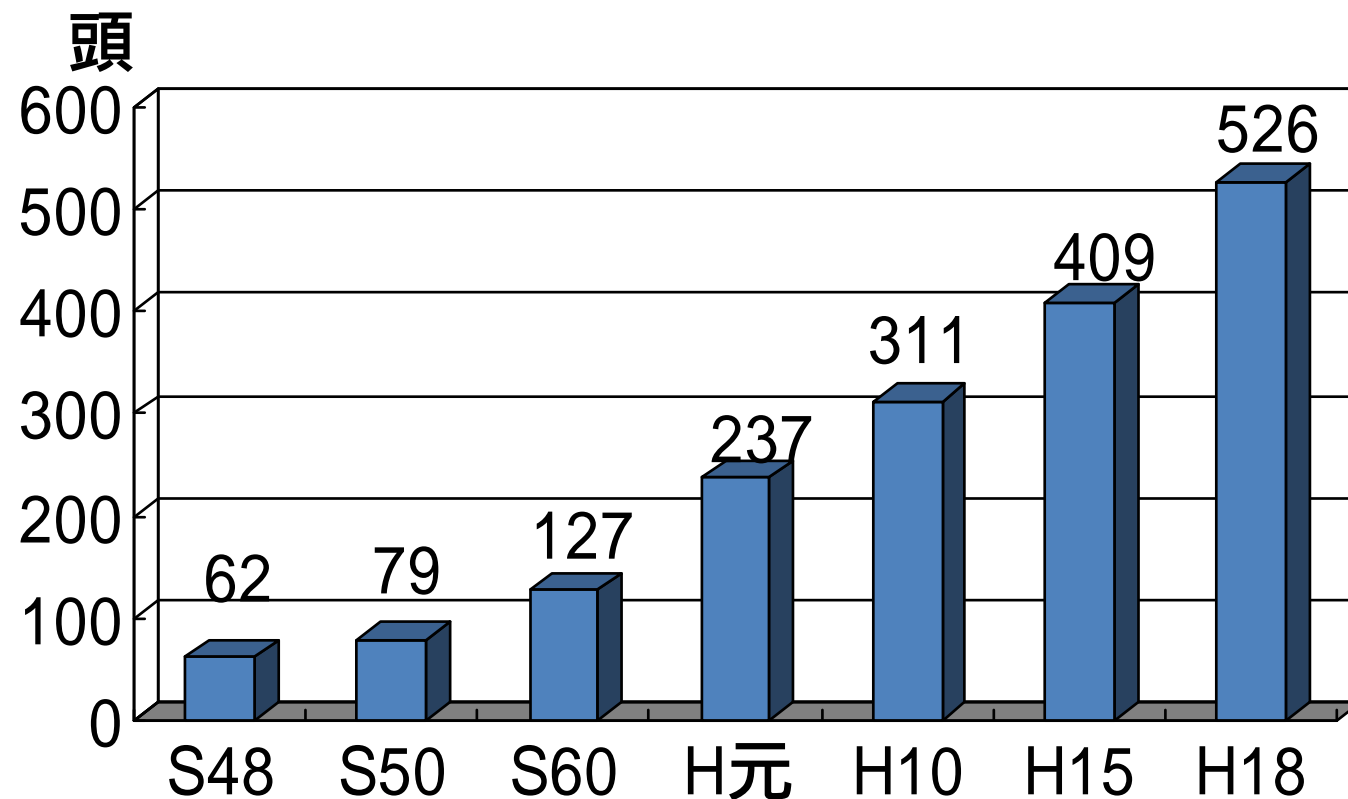
平成14年 **鉄骨牛舎建設 150頭規模**

各事業の実施状況

放牧事業

- 年々放牧頭数は増えている。

胆沢牧野放牧頭数の推移



採草事業

- 年間377t生産、農家へ287t供給
- 質の良い粗飼料を供給
- 農家からの要望が多く需要に応じきれない



冬期預託事業の実施

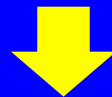
背景

牛肉輸入自由化に対抗した振興策が求められた。

胆沢和牛研究会(後継者グループ)からの強い要望。

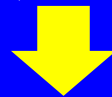
【夏期放牧のみの限界】

- 夏期放牧のみでは繁殖サイクルから放牧できる牛が限定される
- 飼養頭数全頭分の牛舎が必要 → 規模拡大困難



【冬期預託による周年体制へ移行】

- 繁殖サイクルに関係なくいつでも預託が可能
- 農家の畜舎規模以上に飼養が可能



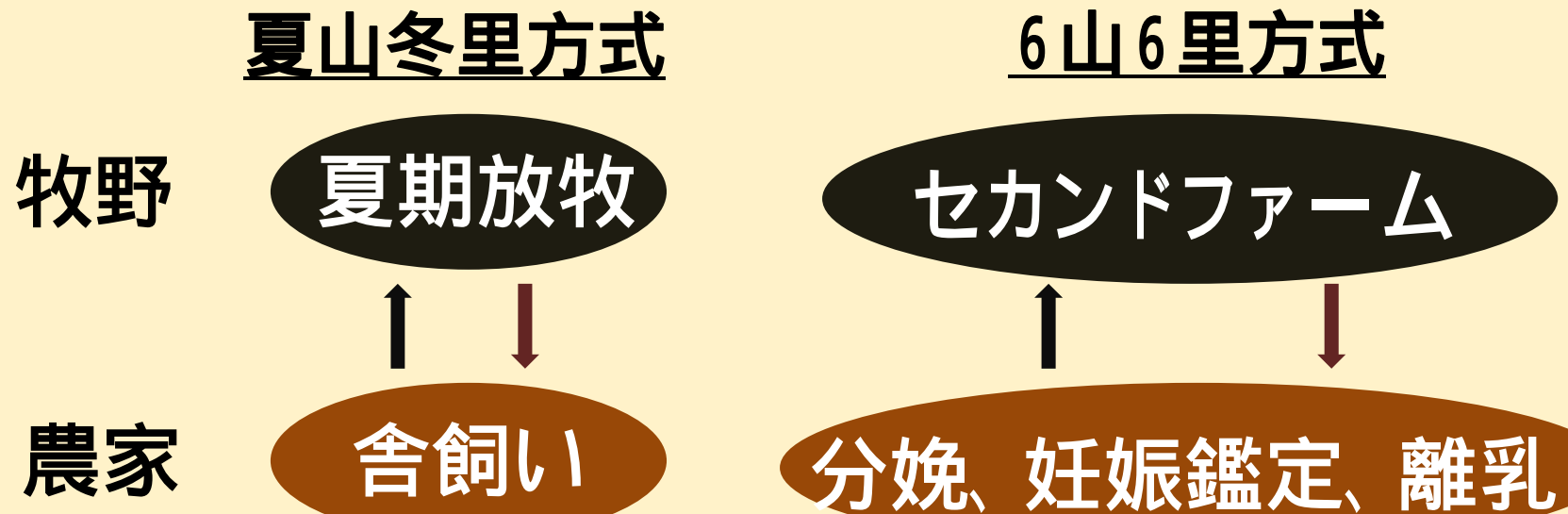
規模拡大

6山6里による周年預託の実践

6山6里とは

- 夏期放牧 + 冬期預託 年間通じて預託が可能
- 分娩—種付け—哺育—離乳の6ヶ月間は農家で管理
- 妊娠期間のうち6ヶ月間は牧野で集団管理

牧野利用モデル

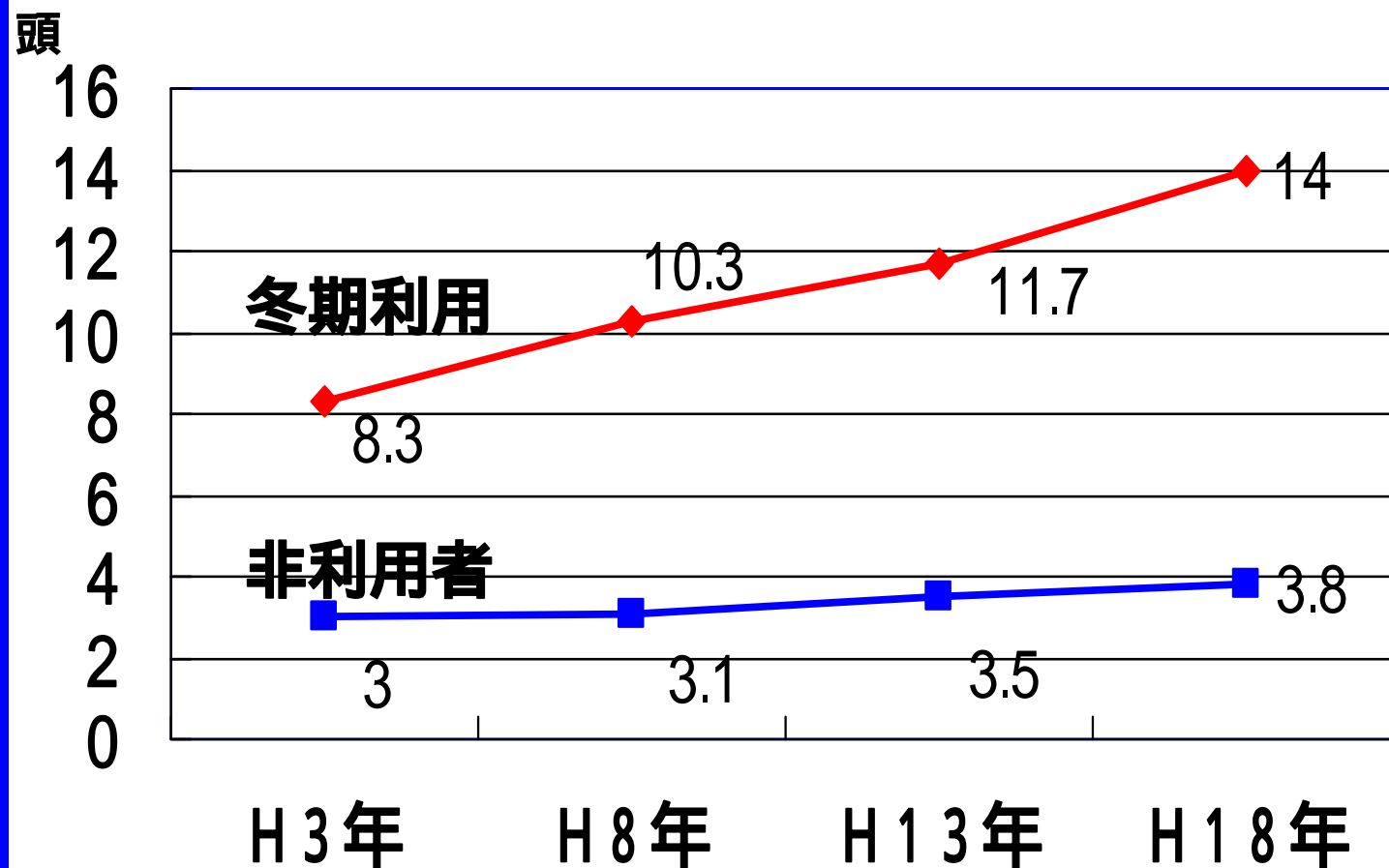


活動成果の概要

- 1 冬期預託により規模拡大が進展
- 2 セカンドファームを活用した規模拡大
- 3 1頭当たり6万円のコスト低減
- 4 大規模繁殖経営体の出現
- 5 冬期預託農家による共同哺育の開始
- 6 当牧野をモデルとした全県的な取り組みへの発展

冬期預託利用農家の 1戸当たり頭数の推移

冬期利用農家の飼養規模の推移



牛舎を増築しないで規模拡大

- ・ 牧野を6ヶ月セカンドファームとして利用

- ・ 冬期預託農家46戸

うち28戸が牛舎規模以上を飼養

牛舎規模

28戸、405頭 実飼養頭数577頭



172頭の増

牛舎規模以上に増頭

農家名	A農家	B農家	C農家	D農家	E農家
牛舎の規模	70	17	12	19	28
実飼養頭数	98	34	23	26	48
牧野利用による増頭分	28	17	11	7	20

大規模繁殖経営体の出現

- 1戸当たり21頭規模以上の農家(地域肉用牛振興目標)

10戸増加のうち7戸は冬期預託利用農家

平成3年5戸 平成18年15戸 10戸増

うち冬期預託農家2戸 9戸 7戸増

- 肉用牛繁殖専業農家の出現

昭和55年後継者として就農 繁殖牛 7頭

平成18年 繁殖牛 98頭

1頭当たり6万円のコスト低減

1日当生産費341円低減

牧野に預託

1,144円

農家で舎飼

1,485円

6ヶ月預託

61,380円

のコストダウン

1頭当たり所得1.4倍に

生産費調査所得

165,449円

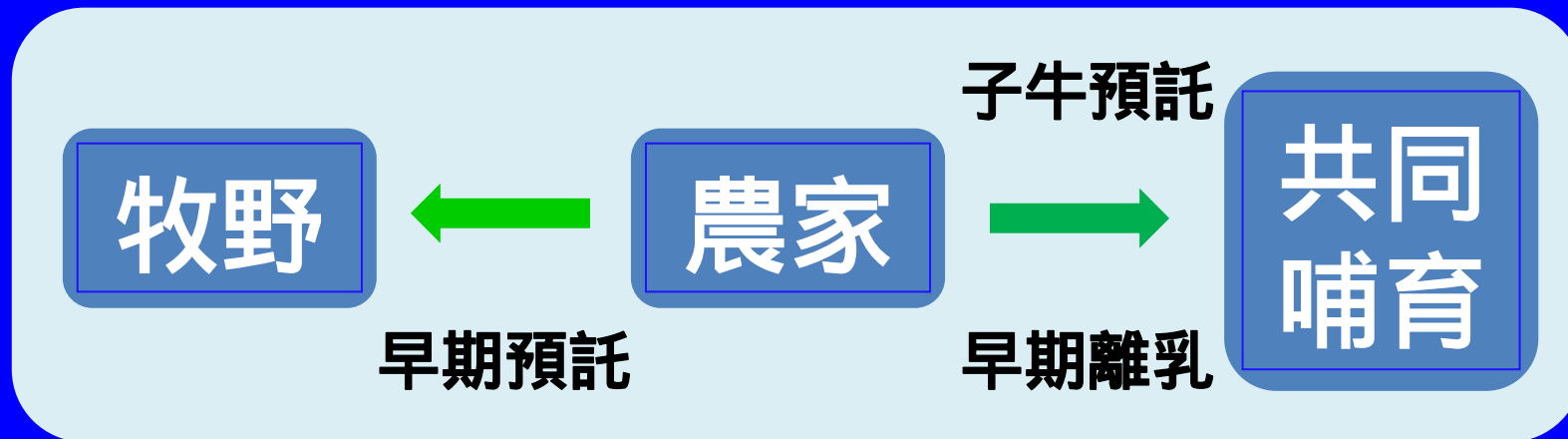


226,829円

預託農家による共同哺育の開始

目的

- 冬期預託利用農家が哺育部門を共同で行い省力化、コストダウンを図り規模拡大を目指す
- 早期離乳による8山4里が可能



- 8戸で任意組合設立 平成17年11月
哺育施設の規模 100頭

全県的な取り組みへの発展

県内初のキャトルセンターとして他のモデル
胆沢牧野を先進事例として

- 平成17年度 2ヶ所設立 (JA江刺、洋野町)

【今後のキャトルセンター整備計画】

平成19年度	二戸市	かしらぎ和牛の会
--------	-----	----------

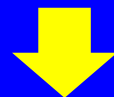
平成20年度	一関市	室根高原牧野、須川牧野
--------	-----	-------------

平成21年度	宮古市	亀ヶ森牧野
--------	-----	-------

平成22年度以降	遠野市、軽米町などで計画
----------	--------------

今後の課題

- 周年預託は飼養頭数拡大に効果大
しかし
- 農家の希望は年々増加 要望に応じられない
そこで
- H21年更に150頭規模の牛舎を増築
これにより
- 周年預託300頭体制の確立



農家の規模拡大に更に貢献